



成田市議会だより



成田市観光キャラクター
うなりくん

平成22年 9月定例会

主な内容

常任委員会	3
議案と審議結果一覧	5
特別委員会	6
決算特別委員会を設置	7
一般質問	8
コーヒータ임	12



ゆめ半島千葉国体

成田市では「ゴルフ」「ソフトボール」「柔道」の3競技が開催され、各競技会場で熱戦が繰り上げられるなか、全国から訪れた方々を心のこもったおもてなしでお迎えました。

9月

定例会の
あらまし

17議案を可決・同意

小学校設置条例の一部改正や 一般会計補正予算など

平成22年9月定例会は、8月27日に招集され9月16日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、24議案が上程されました。

8月31日には、決算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、8月31日から9月2日まで11人の議員が登壇して行われ、2日には、議案1件を同意しました。3日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案13件と発議案3件を原案どおり可決し、請願3件を採択しました。なお、平成21年度決算関係10議案は継続審査となり閉会しました。

9月定例会の日程

月 日	内 容
8月27日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
31日(火)	本会議(一般質問)、決算特別委員会
9月 1日(水)	本会議(一般質問)
2日(木)	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)、決算特別委員会
3日(金)	医療問題特別委員会
6日(月)	空港対策特別委員会、教育民生常任委員会
7日(火)	建設水道常任委員会
8日(水)	新清掃工場整備特別委員会、新駅・基幹交通網整備促進特別委員会
9日(木)	経済環境常任委員会
10日(金)	総務常任委員会
16日(木)	本会議(会議録署名議員指名、議案審議、閉会)

常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

付託された議案4件を審査し、全会一致で可決しました。所管事務について1件の報告を受けました。

▼成田市火災予防条例の一部改正

[内 容] 主な改正点として、省令の改正に伴い、条例中の燃料電池発電設備に、固体酸化物型燃料電池による発電設備を新たに加えるもの。

[主な質疑] **問** 燃料電池発電設備の現在までの届出実績と火を使用する構造とは。

答 現在まで届出は無く、その構造は都市ガスや液化石油ガス等の燃料の改質により生成された水素と空気中の酸素の反応を利用し、電力と温水を取り出す機器である。

▼平成22年度成田市一般会計補正予算（第2号）

[内 容] 成田ブランド構築事業や高齢者福祉施設整備費補助事業等を実施するため、歳入歳出それぞれ3億4,454万7千円の増額補正を行うとともに、ちば電子申請システム利用料について債務負担行為^{注1}の追加を行うもの。

[主な質疑] **問** 成田ブランド構築事業の調査委託内容は。

答 外から見て成田がどういうイメージを持たれているのか、また、成田の観光資源や地域資源などについての調査を行う。

問 住宅手当緊急特別措置事業の受給実績と、受給者が自立した件数及び生活保護へ移行した件数は。

答 平成21年度は21件、22年度も6月までに21件受給し、そのうち自立した件数はゼロで、生活保護への移行が5件あった。

^{注1} 債務負担行為…将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと。



教育民生 常任委員会

付託された議案5件と請願2件を審査し、可決並びに採択しました。所管事務について6件の報告を受けました。

▼成田市文化基金の設置、管理及び処分に関する条例制定

[内 容] 基金設置から約27年が経過し、市民の文化芸術に関する行政需要が多様化したことから、基金を有効に活用するための見直しを図ることに伴い、現行の条例を廃止し、新たに条例を制定するもの。

[主な質疑] **問** 基金を見直すことによって、文化施設の計画に活用していくのか。

答 今回の見直しで、設置目的に基金を活用した文化施設の整備を追加したが、現在、具体的な事業は決定していない。



▲中郷小学校



▲久住第二小学校

▼成田市立小学校設置条例の一部改正

[内 容] 平成23年4月1日からの、中郷小学校の美郷台小学校への統合、及び久住第一小学校と久住第二小学校を統合し、名称を久住小学校に変更することについて、所要の改正を行うもの。

経済環境 常任委員会

付託された議案1件、請願1件を審査し、可決並びに採択し、他に陳情1件を不採択としました。
所管事務について4件の報告を受けました。

▼「国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成に向けての意見書」採択に関する請願書

[主な意見]

農地の基盤整備にかかわる予算を大幅にカットされ、かんがい排水事業が遅れることは、農産物の安定供給に重大な支障を及ぼすことになる。予算を増額し、農用地の基盤整備、用排水事業を進めることを求める本請願に賛成する。

建設水道 常任委員会

▼成田市営住宅条例の一部改正

[内 容] 市営住宅南田護台団地建替事業の一期工事が平成22年10月に完了し、11月から入居が始まることから、同市営住宅に整備した駐車場の使用料の額を新たに設定するもの。

[主な質疑] 問 将来的に中田護台団地、桜川団地で駐車料金の設定を検討するのか。

答 中田護台団地、桜川団地は駐車場として整備されていない。駐車料金の設定については、今後検討していきたい。

付託された議案3件を審査し、全会一致で可決しました。
所管事務について4件の報告を受けました。

▼ニュータウン中央線橋梁製作工事請負契約の締結

[内 容] 都市計画道路ニュータウン中央線の整備に当たり、成田北高等学校から県道成田安食線バイパスまでの間に計画されている新橋梁製作工事の契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

[主な質疑] 問 8社が同額によりくじ引きという結果をどのように受け止めているか。

答 最低制限価格を公表して入札を行ったわけだが、8社とも受注意欲があった中でこのような結果になったものと受け止めている。

国に意見書を提出

9月定例会にて、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。

提出された意見書は下記のとおりです。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書
- 国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成を求める意見書





議案と審議結果一覧

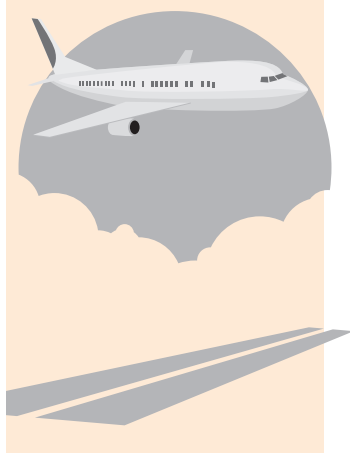
議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										明成会			公明党		リベラル		周政会		共産党		市 蒼						
			佐久間一彦	湯浅雅明	小澤孝一	伊藤春樹	秋山忍	堀川一	大越弘一	加瀬俊勝	村嶋照等	小池正昭	石渡孝春	岩澤衛	宇都宮高明	海保貞夫	上田信博	平良清忠	越川富治	水上幸彦	内山健	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	荒木博	神崎利一	青野勝行	鶴澤治	馬込勝未
◆ 議案																														
1	教育委員会委員の任命(秋山 皓一)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	成田市文化基金の設置、管理及び処分に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市高齢者社会対策基金の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市立小学校設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市営住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	成田市火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	防災行政無線固定系更新工事(その2)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	ニュータウン中央線橋梁製作工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	市有財産の取得(高規格救急自動車)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	市道路線の認定(滑川清水線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成22年度成田市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成22年度成田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 発議案																														
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 請願																														
2	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	「国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	「国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※平成21年度決算関係議案(議案第13号~22号)は継続審査。
 ※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※議長(小池正昭)は採決に加わりません。
 ※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、蒼=蒼成会

特別委員会

委員会の一部を要約して紹介します。

空港対策 特別委員会



「平成21年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果」について報告がありました。平成21年度の騒音測定結果では、第1種区域の外側に設置した測定局で、年間値、月間値とも75W^{注)2}を超えた測定局はないとのことでした。

A滑走路から北側に離着陸する航空機の騒音測定結果では、年間のW値が0.6から1.0減少しており、これは騒音レベルの大きい航空機の運航比率が下がったことや、年間の運航便数が減少したことによるものと思われるとのことでした。騒音対策の方向性としては、騒音軽減運航方式や運航規制だけでは、航空機騒音を低減させることができないため、空港会社では、騒音レベルによる国際線着陸料金制度を導入し、低騒音型の航空機ほど着陸料金が優遇される制度を採用しており、これらの取り組みで、さらに低騒音型航空機にシフトされることが望まれるとのことでした。

「空港容量30万回に向けての騒音直下対策」について報告がありました。民家防音工事の施工内容の充実、民家防音家屋等維持管理費補助金の拡充、航空機騒音地域補助金の拡充の3項目の対策の実施を考えているとのことでした。

^{注)2} W…航空機騒音のうるささを表す指数。加重等価平均感覚騒音レベル（WECPNL）。

新駅・ 基幹交通網 整備促進 特別委員会



「成田新高速鉄道」について事業進捗状況等の報告がありました。成田新高速鉄道は、平成22年7月17日に開業したが、それに先立ち、試乗会や記念式典が開催され、成田湯川駅でも開業祝賀イベントが開催されたとのことでした。

新高速鉄道全体の利用状況は、概ね順調で、成田湯川駅の乗降客数は1日当たり700人前後であり、(仮称)土屋駅は、新駅設置に係る研究会で抽出した問題解決に向け、引き続き調整を進めているとのことでした。

[主な質疑] **問** 新高速鉄道の開通で利便性は良くなったが、今後、東京や羽田への延伸は。

答 具体的な情報は無いが、国土交通省では短絡線の委員会を作り、積算を始めている状況と聞いている。

「成田湯川駅周辺整備」について駅南側及び北側それぞれの事業進捗状況等の報告がありました。駅南側では、湯川線・駅前広場の植栽工事が完成し、駅前の公衆便所は平成22年9月30日に、駐輪場整備工事は11月30日に完成を予定しているとのことでした。

駅北側では、市道松崎塙下湯川線の用地交渉を実施しており、7月末現在で地権者22名のうち8名と契約を締結し、また市道松崎塙下湯川線のJRトンネル詳細設計について、JRと協定書を締結し平成23年3月に設計の完了を予定しているとのことでした。



新清掃 工場整備 特別委員会



「新清掃工場関連付帯施設」について報告がありました。平成20年に実施したパブリックコメントの際に示した温浴施設としての基本的な規模などは、最大限そのベースとなった基本計画案を尊重して継承したいとのことでした。その上で、プールゾーンを大きく2つのエリアに分け、アクティブゾーンには25メートルの競泳用プールを、リラックスゾーンにはジャグジー、子ども用プールなどを配置し、基本構想に掲げた子どもから高齢者まで多くの市民が利用できるレイアウトとしたいとのことであり、また温水プールの更衣室などの充実を図り、高齢者や体の不自由な方などの利用を適切に配慮した施設とし、今後、基本設計案の修正と並行して実施設計に入り、詳細を詰めたいとのことでした。

[主な質疑] **問** 地元小泉区に対する説明はどのように進められているのか。また付帯施設のスケジュールは。

答 平成22年度に入り5月と8月に進捗状況の報告を行った。今後の予定は、用地の取得が順調に進展したとしても2年程度の工事期間はかかると考えている。

医療問題 特別委員会



「成田赤十字病院市町村別救急車取扱状況(平成22年4月～6月分)」について報告がありました。成田赤十字病院に救急車で搬送された患者数は全体で1,741人であり、平成21年よりも116人、7.1%増加しており、そのうち成田市の患者数は613人で全体の35.2%であるとのことでした。

[主な質疑] **問** 救急車を受け入れた数だけでなく、救急車が断られている件数のデータはあるのか。

答 現状ではそのようなデータはないが、消防へ今後依頼するような形で検討したい。

「成田市急病診療所利用状況(平成22年4月～6月分)」について報告がありました。急病診療所の利用状況としては、内科・小児科、外科及び歯科の診療科目全体で2,361人の受診者がおり、平成21年よりも243人、11.5%増加しており、そのうち成田市の受診者は1,536人で全体の65.1%であるとのことでした。

決算特別委員会を設置

委員長に 大倉富重雄 議員

平成21年度決算関係議案を審査する決算特別委員会が、9月定例会において設置されました。



委員長	大倉 富重雄
副委員長	神崎 利一
委員	佐久間 一彦
委員	湯浅 雅明
委員	海保 茂喜
委員	鵜澤 治
委員	村嶋 照等
委員	油田 清

一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

1. JR成田駅東口 再開発の矛盾や課題

海保茂喜 議員



▲開発が計画されている
JR成田駅東口

問 駅ビル内に大型店や専門店などが出店すると、在来の駅前町の商店は、これらに対抗できないのではないかという心配があるが、この強力な店舗と地域の店舗が果たして共存共栄できるのか。また、鎌倉市や京都市をはじめ全国の自治体で景観条例を制定し、高さ制限を行っている状況の中、駅前町成田の景観保全のために再開発ビル6階以上の建設計画の見直しはどのように考えているか。

答 計画されている商業床は1階から3階部分と地下階で、店舗の業種・業態は、基本的には地権者が選択す

ることになるが、参道の店舗と極力競合しないよう調整していく。また、再開発ビルの建設敷地は現在のJR・京成間の暫定歩道より南側に位置し、表参道入り口から約200メートル離れており、駅前町成田の景観を阻害することにはならないものと認識しているが、歴史的町並みや景観にも配慮しながら、民間事業者からの提案を踏まえ、実施設計を進める中で十分検討していきたい。

その他の質問

- ◆成田空港を支える住民の将来
- ◆住民感覚に基づく騒音評価方法
- ◆騒音地域を活かす今後の振興策

2. マルチメディア デージー教科書の 普及促進

水上幸彦 議員



▲デージー教科書

問 文部科学省は、デージー教科書^{注3}の配布対象を児童生徒本人のみに限定した方針を転換し、指導する教員への配布も可能とする通知を関係団体にしたとのことであるが、この通知は成田市でどのように扱われているか。また、文部科学省の調査で読み書きが困難な児童生徒は、通常学級在席者の2.5%とのことだが、成田市の実情と、今後のデージー教科書の導入や活用の予定は。

答 文部科学省等からの通知は、まだ成田市教育委員会には届いていない。また、成田市内の小中学校に在籍する学習障がいのある児

童生徒の状態は様々であり、すべてが読み障がいということではない。デージー教材は、活字を視線で追いながら音読することが難しい子どもたちにとって有効であると考えており、研修会などで紹介する機会を設けるとともに、文部科学省の調査研究の動向等も踏まえながら、活用方法について研究していきたい。

その他の質問

- ◆要援護者避難支援制度
- ◆市有地（市道法面と調整池及び子どもの遊び場等）の管理
- ◆成田市空き地に係る雑草等の除去に関する条例

3. 緊急車両の通行困難 な狭隘道路の整備

内山 健 議員



▲緊急車両の通行を可能に

問 狭隘道路の整備を進めていくために多くの自治体が補助金制度を設けている。これは後退用地の確保のために、その用地を市が買い上げたり、市に寄附をすることで工作物の撤去費用や分筆^{注4}登記の費用を補助するもので、補助要件や補助金額は自治体により多少異なるが、成田市としてもこの補助制度は必要であると考えているが、検討してはどうか。

答 狭隘道路のセットバック後の後退用地が確保されず、緊急車両の通行に支障がある道路などについては解消することが必要であり、

現在、路線ごとに地区の方々の協力で狭隘道路の用地が寄附された場合には、成田市が拡幅整備を行っている。今後、補助制度については、先進地の事例を参考に検討していく。

その他の質問

- ◆次期5か年計画に臨む市長の姿勢
- ◆市営住宅ストック総合活用計画の見直し
- ◆都市計画道路の見直し

注3 デージー教科書…通常の教科書の内容を、パソコンなどを活用して音声や文字で同時再生できるようにしたもの。
注4 分筆…土地登記簿上、一筆(いっぴつ)の土地を分割して数筆の土地とすること。

詳しい会議録は閉会后約2カ月で、市議会ホームページ、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

4.子育て支援

青野勝行 議員



問 >>> 成田市ではヒブワクチンと子宮頸ガンの予防接種半額助成制度が施行され、大変喜ばれているが、半額の助成とはいえ多くの経済的負担を強いられている。また、水ぼうそう、肺炎球菌の予防接種には助成制度が適用されない。乳幼児期からの各種任意予防接種にも助成制度の導入ができないか。また、全額の助成ができないか。

答 >>> ヒブワクチン及び子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の助成制度は、対象年齢の範囲を広くするために、助成額を2分の1とした。今後国及び千葉県に対し、定期接種対象への位置づ

けや、公費助成を要望していく。小児用肺炎球菌ワクチンについては、平成23年度からの一部助成に向けた準備を進めている。水痘ワクチンについては、国において予防接種の定期化にはもう少し検討が必要であるとの見解が示されている。国の動向や医師会との協議により、今後も乳幼児の予防接種費用に係る助成制度の充実を図っていきたい。

その他の質問

- ◆障がい者福祉の個別支援計画の必要性
- ◆成田国際空港立地を活かした「国際会議場」設置

5.成田30万回の住民同意

鶴澤 治 議員



問 >>> 成田市は30万回増便の住民同意取得で3項目の騒音直下対策を提示するようであるが、同意取得に至らない場合には、成田市単独の移転補償を含めた対策などを検討していくのか。地元住民は騒音予測コンターの見直しを求めているが、そのためには騒音評価方式や環境基準などの制度見直しを国へ求めているべきと考えるがどうか。また、騒音被害が増幅する深夜早朝の時間延長は白紙撤回すべきではないか。

答 >>> 移転対策については、成田市単独の移転補償は考えていないが、3項目の騒音直下対策を住民に

説明し、理解が得られるよう話し合いを続けていきたい。また、引き続き現行法制度の中で騒音対策等に取り組んでいくことを考えており、現状では法改正を求めるという考えはない。深夜早朝の運用制限については、成田空港圏自治体連絡協議会の会長として、意見を集約したもので、成田市だけの考えで白紙撤回を求めることは困難である。

その他の質問

- ◆農機具購入助成で担い手支援
- ◆住宅リフォーム助成で地元中小業者支援
- ◆ごみゼロめざす温暖化対策

6.芦田産廃不法投棄跡地及び残存焼却炉

足立満智子 議員



▲不法投棄跡地の残存焼却炉

問 >>> 14年前芦田地先に出現した産業廃棄物の不法投棄は、感染性医療廃棄物が混入していたことがわかり、大きな問題となった。翌年、成田市・千葉県・県産業廃棄物協会の共同事業で撤去し、跡地を成田市が購入した。しかし、跡地入口の焼却炉は事業者の所有であるとして現在も残り、跡地の有効活用とはほど遠い現状である。平成19年3月定例会の一般質問では事業者への法的措置を視野に入れながら撤去を求めていくという答弁であったが、現在はどのような状況か。

答 >>> 平成21年度から過去の

資料の見直しを行い再度検討したところ、土地・焼却炉とも、土地取得時点で成田市の所有と考えられること、また成田市は占有を10年継続したことにより改めて時効取得したと判断でき、焼却炉の所有権を有するとの結論に至った。これにより、焼却炉のダイオキシン類調査を22年度に実施し、その後解体を図っていきたいと考えている。

その他の質問

- ◆千葉県の“カジノ構想”に対する成田市の見解
- ◆COP10と生物多様性への成田市の取り組み

7.赤坂センタービルの アスベスト対策

雨宮真吾 議員



▲解体が進む赤坂センタービル



問 >>> 赤坂センタービルは周辺に約3万人が居住するニュータウン地区の中心部に位置し、現在解体工事が進められている。建築材料に危険性の高いアスベストが使用されていたため、飛散防止対策など工事の安全性を把握する必要がある。アスベストにおける現行法の課題は多く、健康被害や事故、事件も絶えない今、成田市の大型解体工事を千葉県や労働基準監督署だけではなく、成田市としても現場を調査、監督することで市民の不安を払しょくするべきだと提案する。

答 >>> 赤坂センタービルの解体工事については、法令を遵守した工事が行われるよう情報収集に努める。周辺住民の不安をなくす対策として、成田市も立ち入りを行い、状況を調査、監視していきたい。また、その情報を成田市のホームページ等で掲載することを検討する。

その他の質問

- ◆アスベストの飛散リスクと成田市独自の管理体制強化策の提案
- ◆口利き対策とコンプライアンス（法令順守）の推進

8.食と農の まちづくり条例

小澤孝一 議員



▲名古屋地区にある梨園

問 >>> 食料自給率向上について、現在、国の方針として自給率を50%まで引き上げるとしている。成田市としての取り組み、行政としての対応として、農家との連携による地産地消運動の推進、農産物直売所の設置など、食育の推進等を踏まえた成田市食と農のまちづくり条例を制定してはどうか。

各課が一体となり地域の特性を生かした食育推進計画の策定を進めており、成田市の食に関する現状などを把握するための市民意識調査を実施している。今後、地産地消の推進などを踏まえた上で計画の策定を進めていく。なお、成田市食と農のまちづくり条例の制定については、今後、他市町村の優良事例の研究を進めていきたい。

答 >>> 農産物直売所については、地域の自主的な活動に対し、設置・運営母体となる団体の体制整備などについて、関係機関・団体と連携し支援を行っている。また、食育推進の取り組みとして、現在、関係

その他の質問

- ◆空港容量拡大に向けた騒音下対策と隣接区域線引きの見直し
- ◆学校給食の取り組み

9.エコスクール化 の考え方

大倉富重雄 議員



▲（仮称）公津の杜中学校イメージ図

問 >>> 文部科学省は、平成9年度から学校施設の環境を配慮した施設、いわゆるエコスクールづくりを推進している。有識者会議が設置され、すべての学校においてエコスクール化を目指すことが重要であるとの観点と、その推進のための3つの視点と4つの方策が示された。今後は、快適な学習環境の確保とともに、エコスクールづくりに積極的に取り組むことが地球温暖化対策の一環として重要な観点となる。これまでも公共施設の太陽光発電の導入を訴えてきたが、エコスクールの取り組みについて、基本的な考え方を問う。

答 >>> 今後建設が予定されている（仮称）公津の杜中学校や下総統合小学校には、太陽光発電設備の設置も計画している。エコスクールの基本的な考え方である施設面・運営面・教育面の3つの視点から、エネルギー消費状況の把握、無駄の有無の点検などを行い、効率的な施設運営に努め、豊かな環境を守り、子孫に引き継いでいくことが大切であると考えている。

その他の質問

- ◆学校教育長期ビジョンの見直し
- ◆自動販売機設置、公募方式の導入
- ◆ドッグランの設置

10. 来年度から中学生までの医療費助成を

馬込勝未 議員



問 >>> 成田市は、平成23年度からの次期総合5か年計画の素案を発表したが、何よりも市民生活を支援する予算を優先して配分する必要があるのではないかと考える。素案には中学校3年生までの医療費助成があるが、今度千葉県が小学校3年生まで負担するようになり、成田市の財政負担が減るため、中学校3年生まで拡大しても新たな財政支出はないものと思われる。そこで、実施時期は23年度からとすること、また窓口で一度支払わなくてもよい現物給付にすることを求める。

成については、千葉県内7市町で実施しているが、成田市においても、主な事業として総合5か年計画への計上を予定している。また、今後千葉県の医療費助成が現物給付で小学3年生まで拡大されることに伴い、上乘せして助成する市町村も増えてくるものと思われるため、これらの市町村とも連携を図りながら現物給付の拡大について県に要望していきたいと考えている。

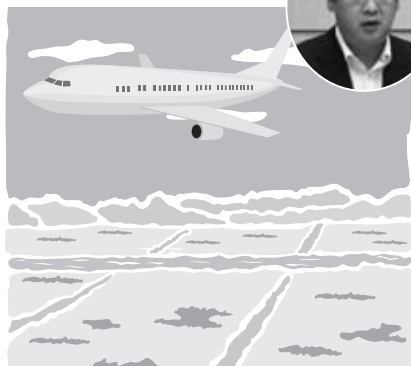
その他の質問

- ◆ 地域主権の問題
- ◆ 75歳以上への医療費助成制度

答 >>> 中学生までの医療費助

11. 成田空港容量拡大に向けた取り組み

佐久間一彦 議員



問 >>> 空港建設を契機に、農業と門前町の成田から国際都市成田へと大きく発展してきたが、多くの市民が恩恵を受ける一方で苦渋に満ちた住民の協力を忘れてはならない。現在に至るまでさまざまな会議が開催され、内陸空港ゆえの騒音問題をその都度解決し年間発着22万回まで増枠したが、30万回容量拡大に向けての具体的な取り組みは。

て、今後も騒音地域で住み続ける住民の生活環境の保全対策として、防音工事の施工内容の充実や防音工事済住宅・空調施設の維持管理費及び固定資産に係る補助制度の拡充を図るため、成田市と芝山町の関係6者の連名で、成田空港の容量拡大実現のための提案書を提出するとともに、千葉県及び国に対しても支援と協力をお願いした。

答 >>> 地域共生策の基本的な考え方などを成田空港騒音対策地域連絡協議会や久住地区と下総地区の空港対策委員会に説明した。平成22年7月13日には空港会社に対し

その他の質問

- ◆ 騒音下地域の住民に対する説明状況と住民の反応
- ◆ 豊住地区騒音対策協議会の申し入れに対する市長の見解

くわしい情報は市議会ホームページをご覧ください

市議会ホームページでは、市議会だよりではお伝えできなかったくわしい情報をご覧ください。本会議・委員会のライブ中継や録画中継（本会議のみ）、市議会の日程や審議結果などのほか、会議録の検索システムなども便利にご利用いただけます。

成田市議会

検索

<http://www.city.narita.chiba.jp/gikai/index.html>

<市議会ホームページメニュー>

- | | | |
|--|---|--|
| 議長・副議長
<ul style="list-style-type: none"> ■ 議長・副議長あいさつ ■ 歴代議長・副議長 ■ 議長交際費 | 議員名簿
<ul style="list-style-type: none"> ■ 議員名簿 ■ 委員会名簿 ■ 党派別名簿 ■ 座席表 ■ 議会選出各種委員等 | 市議会の概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市議会のしくみ ■ 市議会の役割 ■ 市議会の流れ ■ 議会用語解説 ■ 条例に係る申し合わせ |
| 市議会の日程、議案など
<ul style="list-style-type: none"> ■ 日程 ■ 議案 ■ 一般質問 ■ 可決した意見書・決議 | 市議会の傍聴、請願など
<ul style="list-style-type: none"> ■ 傍聴のしかた ■ 請願・陳情など | 市議会広報、会議録など
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市議会だより ■ 議会中継 ■ 会議録の検索 ■ 政務調査費 |

議場に歌声響く♪ ～成田小合唱部のハーモニー～

9月定例会が閉会した9月16日、成田小学校児童によるコンサートが議場にて開かれました。市民に親しまれる市役所・市議会を目指す初の試みで、今回は試行として市と市議会の共同開催です。

議場には市議会議員や市職員のほかに児童の保護者も集まる中、成田小学校合唱部のメンバー約50人による「いのちのいっちょうめ」「消える」「地球星歌～笑顔のために～」の3曲が披露され、美しい歌声が議場に響き渡りました。

初めての議場コンサート▶



中学生議会開催

10月5日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について学んでもらい、市政への関心を深めてもらうため開かれるもので、市内中学校10校から代表22名が出席し、中学生の視点で様々な質問や意見が出されました。



▲真剣な表情で答弁に耳を傾ける中学生議員

12月定例会は、 11月26日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476(20)1570(直通)
FAX 0476(24)0336

コーヒータイム



庁舎の中庭には、昭和33年の旧庁舎落成を記念して寄贈された「平和像」が建っている。平和像の除幕式などの記念式典の様子は、当時の「成田市政だより」11月号1面に「成田市政史に燦然(さんぜん)と輝く」の見出しで紹介されている。また、その年市議会は「世界連邦平和都市宣言」を議決した。

この平和像は、50年以上成田市の発展を見守ってくれている。今夏、歴史的猛暑の中、甲子園でベスト4に輝いた成田高校野球部の選手達が来庁したおりに、見事な活躍を喜んで迎えてくれたことだろう。

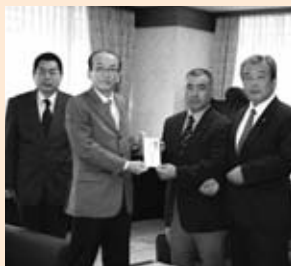
数多くの学術称号を受賞したある有識者は、「平和を願う人は、誰よりも文化を愛する人だ。人間を共感と感動で結ぶ文化の擁護と復興こそが、平和への大道なのである。」と語った。

本市は文化芸術振興策を計画しているが、市議会においても議場でコンサートが開催されるなど、開かれた議会への努力とともに文化芸術の振興を推進している。平和への道に通じていると思う。

市議会だより編集委員 大倉 富重雄

姉妹都市サンブルーノ市に 義援金

成田市議会議員団では、9月に発生した大規模火災の義援金を、小泉一成成田市長と関根賢次副市長に、団を代表して村嶋照等団長と神崎利一副団長が託しました。



▲サンブルーノ市に義援金

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH
SOYINK™
環境に優しい大豆インクを使用しています。

「市議会だより」は、再生紙を利用しています。